

2023年度は大きく分けて2つの取り組みをしました。1つは長野県立子ども病院の30周年記念祭に掲げる垂れ幕(ハンカチ)の企画と制作。もう1つは、以前から相談のあったCTやレントゲン室がある廊下の印象を明るくする取り組みです。垂れ幕の制作は、いまだにコロナやインフルエンザの影響があり、個々に制作しながらも華やかに周年祭を彩れるものを考えました。50cm×50cmの大きなハンカチを入院している子どもたちや家族、看護師らがシールを使って文字や柄をデザインし、それを看護師や藝大チームがアクリルガッシュを使用して完成させていきました。廊下を明るくする取り組みは、現地で以前からお世話になっている施工業者と電気工事から始めて、安曇野の名物であるりんごの木をモチーフとした照明作品を制作しました。院長をはじめ、看護師やそこを利用する子どもたちが作品を機にたくさんの会話も生まれていました。



▲30周年記念祭に掲げられたハンカチの一部



▲CTやレントゲン室がある以前の廊下



▲I Love You プロジェクト 2023 の活動にて明るくなった廊下



2024年度は引き続き「中央採血室」「レントゲン室」「CT 検査室」など、子どもたちにとって怖い部屋が並ぶ廊下を明るくすることを目的とした創作活動を考えています。廊下で親子は診察を待ち、泣く子どもの声を保護者はじっと廊下で聞きながら診療が終わるのを待っています。2023年度は周年祭の活動もあったので、廊下を明るくする活動は一旦終わられたものの、まだ未完成のような気持ちでいます。例えば、りんごの木の左右が空いていたり、りんごの木自体に装飾を施したり、場合によってはプロジェクションマッピングのように遊びを入れることも可能かもしれません。

子ども病院という場所もあり、流行りの風邪の影響が大きかったり、施工に制限もある為、必ず今考えている通りになるには限らないのですが、毎年看護師さんや保育士、医師たちも楽しみにしてくださっていて、できるだけ関係を途絶えさせない方向で考えています。よろしくお願ひ致します。